

なのhana だより

NANOHANA
DAYORI

老健ちば

No. **76**

July 2014



介護老人保健施設 エスペーロ「牛久大仏散策」

INDEX

①

トレンドTOPIX 潮流
（ニュースウォッチ）
ちばつりゆう

地域医療確保法が成立!!

フォーカス「老健ちば」

〈平成26年度理事会・社員総会報告〉

③

〈特集 こうほうレポート〉

「介護老人保健施設

はつらつリハビリセンター」

『褒め合えば、やる気アップ！ 楽しさアップ！
褒め合い活動について』

⑤

〈研修会報告〉

自由気ままに

ペーパーブログ

「施設のアイドル」

龍岡ケアセンター

わたしもアイドル（介護職）

研修委員会

研修委員会の新メンバーです！

⑦

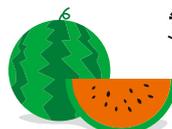
〈なのhanaスマイル〉施設の笑顔紹介

● ケアセンターきさらづ

● シルバーケア松戸

〈老健ちばカレンダー〉

〈編集後記〉



<http://www.chiba-roken.jp/>

平成26年7月22日 発行

● 発行者/一般社団法人 千葉県老人保健施設協会 ● 編集者/広報委員会

● 〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-250-7352 FAX:043-286-0661

トレンド TOPIX 潮流

ちょうりゅう

ニュースウォッチ

地域医療確保法が成立!!

参院厚労委 22項を付帯決議

地域医療介護総合確保法案は、地域包括ケア推進のため医療・介護の基盤整備にかかわる関連法案を1つにまとめたもの。

消費税を財源に都道府県に基金を設置する「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」。機能別の病床整備を都道府県に推進させることや、医療事故調査・支援センターの設置を盛り込んだ「医療法」。

医師の個別指示を受けずに高度な医療行為を行う特定看護師に関する「保健師助産師看護司法」のほか、コメディカルの業務を拡大する歯科衛生士法、歯科技工士の試験の実施主体を全国一本化する「歯科技工士法」など、介護保険法以外にも広範囲な内容を含む。

参院厚労委では、介護保険、医療事故調の2テーマに分けて参考人質疑を行ったり、法案審議では珍しい公聴会を開催するなど工夫はしたものの、実質的な審議時間は27時間。安倍総理も最終日に出席した。

ようやく、課題が明らかになりつつある中での、採決となった。19本ものバラバラな内容の法案を一括し提出することは、政府の国会軽視の表れであり、常態化する

れば国会が形骸化しかねないという批判は野党共通だ。各党の反対討論の主な内容は以下の通り。

「改正案は自助優先で介護の社会化に逆行。家族介護者対策にも冷淡で、基盤整備に有効な対策がない」(民主党)

「医療事故調査制度に遺族からの依頼で調査できる仕組みがない」(維新の会)

「看護師の特定行為、医療事故調査制度もきわめて乱暴な内容。医師法第21条の問題も棚上げで、人材確保、医療事故に關して抜本的な改革の議論を避けている」(みんなの党)

「介護保険の2割負担の根拠は崩れたのに撤回しない。予防給付の地域支援事業への移行は、介護サービスからの強制卒業。特養ホームの入居要件を要介護3以上にする。ことは、要介護1・2の待機者17万人を消す対策。有料ホームやサービス付き高齢者住宅に依存するだけで、政府として代わる政策はない」(共産党)

「要支援者160万人に介護保険の給付を受ける権利がなくなる。民間病院にペナルティを課して、病床規制を進める。行き場のない患者が増える」(社民党)

野党はオール反対だが、採決に応じたことにより、22項が付帯決議された。

医療法については、2次医療圏での病床機能マップともなる「地域医療構想」で医療機能の必要性が適切に推計されるよ

う都道府県に対し、国がガイドラインを提示したり、人材育成の支援を行う、医療事故調査制度については、法律に明記されていない公的費用補助の確保を図ることなど。

介護保険法については、介護予防訪問・通所介護の地域支援事業化にあたって、利用者にふさわしい専門的なサービスが確保されるようガイドラインを策定することや、2割負担となる所得基準を政令で設定するにあたっては、利用控えが起きないように十分に配慮することなど6項目。

施行準備が本格化

改正介護保険法の成立を受け、今後、施行準備が本格化する。予防給付の訪問・通所介護を地域支援事業に移行するにあたってのガイドライン案は問もなく示される予定だ。

しかし、答弁でも繰り返し説明されたように、現在の事業者はみなし指定があり、準備ができた自治体の新規の認定者から順次、新しいサービスへ移行することとなるため、来年4月から大きな変化はない。一方、自治体は地域支援事業への移行を延期するために必要な条例の策定を4月までに行う準備が求められることになる。

フォーカス 老健 ちば

理事会・ 社員総会 開催!



平成26年度 理事会・社員総会報告

平成26年6月12日京葉銀行文化プラザを会場に平成26年度一般社団法人千葉県老人保健施設協会理事会と社員総会が開催されました。当日は委任状を含め85施設が参加しました。

はじめに平山登志夫会長より挨拶があり、その後議事が進行されました。千葉県老人保健施設協議会平成25年度事業報告並びに決算、監査報告が行われ承認されました。続いて一般社団法人千葉県老人保健施設協会平成26年度事業計画案と予算案、理事の交代、新入会の会員について承認されました。

また、当会は平成26年4月1日に一般社団法人化され、千葉県老人保健施設協会へ名称が変更されました。



■一般社団法人 千葉県老人保健施設協会 平成26年度役員名簿 H26.6.12 現在

役職	施設名	氏名(役職)	圏域
会長	晴山苑	平山 登志夫(理事長)	千葉
副会長	シルバーケアセンター	村上 信乃(施設長)	香取・海匝
	ロータスケアセンター	梶原 優(理事長)	東葛南部
理事 (入会順)	老人ケアセンター浅井	小川 友裕(施設長)	東葛北部
	スターチス船橋	田村 克彦(理事長)	東葛南部
	晴山会ケアセンター	熊谷 富士雄(センター長)	千葉
	ケア・センターきさらづ	井尻 昭彦(施設長)	君津
	なのはな館みさき	松本 侃二(施設長)	安房
	夢プラスワン	平原 利彦(理事長)	香取・海匝
	ケアセンターかずさ	武田 従信(理事長)	夷隅・長生・市原
	いずみ苑リハビリケアセンター	京野 昭二(センター長)	千葉
監事	慈風苑	佐生 隆(理事長)	香取・海匝



介護老人保健施設

「はつらつリハビリセンター」

『褒め合えば、やる気アップ! 楽しさアップ!』

褒め合い活動について

この度、広報委員会宛てに、
はつらつリハビリセンターの
福田裕副施設長から
1通のFAXをいただきました。
ここに紹介させていただきます。



いくつかは、褒められるって嬉しいものですよ。一生懸命やっている仕事を上司や先輩、他職種の人から褒められると、照れもしますが嬉しい気持ちにもなり、ますます頑張ることが出来ます。

そんな気持ちも大切にしたいという声から、私たちの施設では有志を募って「楽しく仕事をしようプロジェクト」を立ち上げ、平成二十五年三月に「褒め合い月間」を実施しました。この月間の活動内容はいたって簡単。上司や先輩、職種の違いなく、職場内の人を「褒めること」で普段伝えられていない感謝の気持ちを伝えるというものです。業務上でのスキルや知識など、褒める対象は何でもOK。手紙形式でまとめ、直接本人に渡します。特に印象的なものや、本人だけでなく皆にも広く伝えたいというものについては、選抜して発表する場も設けました。発表時のBGMは十六小節のラパソングのテーマ。聞いていて涙を流す人もいたとか、いいことか。

この月間中、職員は皆、お互いの「良い所探し」のアンケートがピンピンに。手紙をもらった人からは、「今までやってきたことは間違っていないかったんだ」という気がききや「手紙を額に飾っておきたい」という喜びの声が多数。活動についても「普段は伝えられないことを職種・部署のしがらみなく伝えられる場に感謝しています」といった言葉が聞かれ、褒め合うことの大切さを改めて考えさせられました。これからも、やる気アップ! 楽しさアップ! を目指して活動を続けていきます。

広報委員会では「はつらつリハビリセンター」での取り組みを是非、取材させていただきたいと6月6日(金)に施設見学に伺いました。当日、取材には福田雄三施設長、福田裕副施設長、佐々木和博介護主任にご協力をいただきお話を伺いました。



「褒め合い活動」の楽しさを
きこかけを教えます。

以前に研修会で「リピーターを生み出すデイズ」の人材育成方法」の講義があり参加しました。そこで従業員満足度を高めることが出来るかを学び施設内研修で報告をしたところ、自分達も職員同士で褒める活動をしてみようという事になり、始めました。

具体的にどのよう
に取り組んだのか
ご紹介いただけますか?

まず、職員の中から中心となる人を募集し「楽しく仕事をしようプロジェクト」を立ち上げました。その後、2回にわたり「褒め合い活動月間」を決めて、実際に職員同士、上司や先輩、また職種にこだわりなく、「褒め合い活動」を行いました。

実施内容ですが、対象は全職員で日頃お互いに仕事をする中で口に出して言えない良い所をお互いの「良い所探し」と題して手紙に書いていただきました。手紙は皆が記名で、同僚同士や上司から先輩宛て、逆に先輩から上司宛て、また、他職種の職員宛や中には職員個人宛てではなく部署に宛てた手紙等、さまざまな手





紙が集まりました。手紙は一人の職員が複数の職員に書いても良い為、かなりの件数になりました。

次に、集まった手紙はプロジェクトメンバーがまとめ、集めた中でも素晴らしい内容については当施設で毎月1回行っている施設内研修の終わり間際10分を利用して「十六小節のラプソディのテーマ」をBGMに流しながら発表しました。その内容はレコーダーで録音して、全職員が聞ける体制をとりましたので、今回の褒め合い活動の厳選された内容は職員全員が聞いています。

手紙は1回の実施で約200通程度集まり、2回目の実施では手紙を書く用紙を作成してその用紙に記入してもらいました。

集まった手紙は どう読まれたのかな？

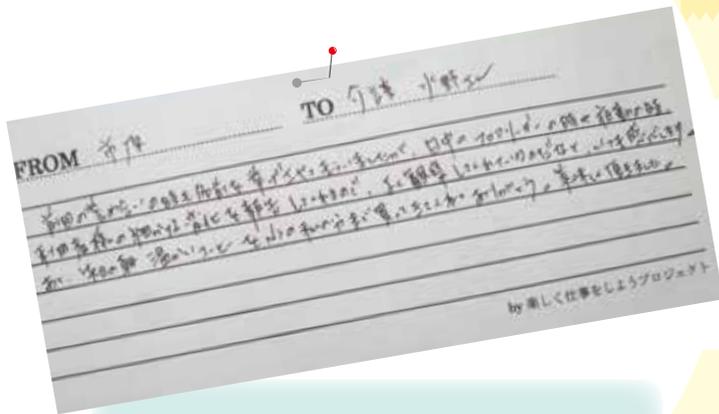
手紙は記名となっており、誰が、誰に送ったものかがわかります。実施後の給料日に給料袋の中に入れて職員に手渡しました。職員も「自分には何通の手紙が入っているのだろう？」と期待して、いつも以上にワクワクして給与袋を取りに来る職員の顔が印象的でした。



この「褒め合い活動」を 行ってみようかでしたか？

実際、手紙を貰うと誰もがとても嬉しい気持ちになり、自分の事を評価してもらっていると感じた職員や職員同士の交流が深まった職員が多くおりました。また褒め合い活動の1ヶ月間は職員一人、二人の発想がポジティブになりモチベーションの向上にも繋がりました。

普段は伝えられない事を職種・部署のしがらみ等もなく伝えられる場になり、褒め合う事の大切さを改めて考えさせられました。これからも、やる気アップ！楽しさアップ！を目指して活動を続けていきたいと思っています。



褒め合い手紙の感想 介護職 水野二三代

給与袋を施設長に貰った時の感想は、看護職やデイケア等の他部署の方が私を見てくれていた事に驚いたのが本音です。そして、気持ちが癒され、1つ成長した気分になりました。嬉しくて捨てられません。これからは見られている緊張感が増しますが、皆に褒められる喜びを日常でも実感して貰い、皆で楽しい職場を作りたいです。

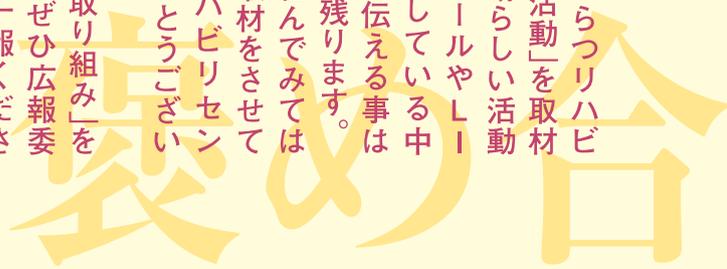


介護老人保健施設 はつらつリハビリセンター

住所：〒265-0046 千葉市若葉区小間子町3-132
開設：平成9年11月17日
定員：入所/80名 通所/20名

今回、広報委員会では、はつらつリハビリセンターでの「褒め合い活動」を取材させていただきとても素晴らしい活動で感動しました。現在はメールやLINEなどのSNSが流行している中で、なかなか直筆の手紙で伝える事は逆にとても新鮮で心や形に残ります。皆さんの施設も是非取り組んでみてはいかがでしょうか。今回、取材をさせていただいた、はつらつリハビリセンターの皆さん本当にありがとうございました。

皆様の施設でも「独自の取り組み」をされている情報があれば、ぜひ広報委員会または事務局までご一報ください。ユニークな内容については、順次紙面で紹介をしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



研・修・会・報・告

第1回新人職員研修会

平成26年6月3日(火)ホテルポートプラザちばにて、今年度第1回新人職員研修会が行われました。65施設142名の新人たちが集い、会場は熱気に包まれました。

今回も昨年同様、講師は介護老人保健施設ロータスケアセンター副施設長川端心氏に1日を通し、講義をしていただきました。午前中は、新人職員として知っておくべき介護保険制度と介護老人保健施設の役割、午後は、高齢者の特徴や認知症の症状、感染症対策及びターミナルケア等、必要なケアについてのお話でした。

今回は参加者の方からのフレッシュな感想をご紹介します。



参加者の感想



介護福祉士 山形 直紀
(きゃらの樹ケアセンター)

今回の研修で、介護保険制度と介護老人保健施設の役割について学ぶ事が出来ました。私は、養成校で2年間介護福祉士の資格取得を目指して学習をしていましたが、この研修で再度復習をする事が出来ました。

全体を通して、介護保険制度では、法律や行政の役割、制度の具体的な内容や介護福祉士に関する内容を学習する事で、普段あまり目にする事がない事柄も考えなおす必要があると感じました。

介護老人保健施設の役割では、在宅復帰を目指す事を目的として、日々の業務での利用者様へのケア、対応の仕方、介護技術の修得から、利用者様に安全かつ安心した日々を送って頂く為に、他の職員の方々と共に何をすべきかを改めて考えていく必要があると感じました。

この研修で学んだ事を、利用者様が、快適で充実した生活を日々送って頂けるようなケアや対応に繋げ、そして何より在宅復帰を目指して頂けるよう今後にかかしていきたいです。

レクリエーション研修会

平成26年6月26日(木)、ホテルポートプラザちばにおいて、55施設100名の参加の下、レクリエーション研修会が行われました。昨年同様、講師に「デイホームちやのま」の施設長 村松郁恵氏をお招きし、『快い介護につなげるレクリエーション』について、その視点と手法について学びました。

先生は、「心が動けば身体も動く」心を動かすことができれば、身体も自然に動き始める。様々なレクリエーション援助を通して、利用者が抱く不快な感情を和らげ、快い感情を抱いてもらう。その際、利用者本位の言葉、利用者の利益を優先する言葉が自然に出てくるように気配り、心配りが大切であり、くれぐれも指示的・命令的な言葉等は使わないルールをしっかりと身につけなければなりません。とおっしゃっていました。

参加者は10名ずつのグループに分かれ、様々なテーブルゲームのアレンジやちょっとしたタイムのレクリエーションと称した体操を実際に行いました。会場は終始笑顔と歓声に包まれ、演習を通して参加者同士のコミュニケーションの輪が広がり、レクリエーションの持つ力を実感することができました。



インフルエンザ・ノロウイルスなど施設内での感染予防と、速やかな消臭に！

オゾンで薬剤不要の除菌・消臭！

世界初！人感センサー&濃度計付プラスマオゾン発生器



救急車内にも導入され効果は実証済！



約30畳を除菌・消臭

ハクテクター-03



調理・食堂・廊下・トイレ・リハビリルームなど



オゾンが最適！

まずはお試しください！

デモ機貸出して効果を実感いただけます！

お問合せ・ご用命はお気軽に！

株式会社サンヨーシステムズ

エコソリューション営業部 担当：根本

〒110-0005 東京都台東区上野5-3-1

TEL:03-3833-1231

<http://www.sanyosystems.co.jp/>

当社取扱商品：その他オゾン機器
家電・空調・冷凍機・太陽光発電・ラントリ機器

* 東京消防庁(救急車両)を始め、総合病院や老人保健施設、保育園などにも多数導入されています。

『施設のアイドル』

龍岡ケアセンター

わたしもアイドル(介護職)

龍岡ケアセンター新館(さくら園)が昨年10月にオープンして約半年がすぎました。毎日新しい入所者様の受け入れや日々の業務に追われながら、私達職員は入所者様と共に楽しむ行事のひとつとして、毎月お楽しみ会、誕生日会を開催しています。

毎回、趣向を凝らし、ボランテアの方々によるショーや、職員によるさまざまな行事を企画して入所者様にお楽しみいただいております。

今回はマジックショーや歌の他に、初めて施設内の託児所の子どもさんも参加して、お誕生日会を行いました。

子どもさんの登場に皆さんは目を輝かせ、誕生日会は私達が想像した以上に大好評でした。子どもさんに会い、日頃あまり笑顔を見せられない方々にもこやかな表情をみせ、優しいまなざしをむけられておりました。

ご自分のお孫さんのように接しられる方、ご自身の小さい頃の話さされる方々等、入所者様同士の会話も弾み、楽しい時



間を過ごされてきました。あらためて子どもさんの持つ若々しいパワーに驚かされました。

入所者様も次回のお誕生日会を楽しみにされ、「今度はいつくるんかえ?」「かわいね〜」「あんたもこどものころはあだだったんだね」等々、私達職員との会話も多くなっています。

今では施設のアイドルとして入所者様だけでなく、私達職員も子どもさんとの触れ合いを楽しみにしています。入所者様の笑顔が私達職員の元気の素です。

私達も子どもさんと同じように、入所者様のアイドルとなつて、入所者様がお楽しみいただける行事を企画し、笑顔あふれる活気ある施設をめざしていきたいと思っております。

「わたしもみんなのアイドル!」を目指して。

Information

研修委員会の新メンバーです!



塩原 貴子
(フェルマータ船橋)

平成25年から、研修委員として活動しております塩原貴子と申します。

船橋市にある「フェルマータ船橋」で事務長代理を務めております。

今まで様々な研修に自分も他の職員も参加をさせて頂いておりましたが、研修委員になったことで企画から携わり、少しでも県内の老健職員の気づきや他施設との交流の場、育成の場としていければ嬉しい限りです。

千葉県老健にとつて必要なことや今後の老健施設に求められるものなどを研修委員同士で熱く話し合い、一つずつ研修の企画を立てていく。こんな風に研修予定を立てていた事を知らなかったのもったいなかったなあと感じており、各職種の声を拾い上げ、今のニーズにあったもの、現場が欲している情報などを盛り込んだ研修を企画して、少しでも現場で働く私達に還元できる内容にしていきたいという私も日々情報収集と勉強をしたいと思います。どうぞ、今後ともよろしくお願いたします。

福祉車両のプロフェッショナルにお任せください。



URL: <http://www.ingenious.co.jp>
TEL.048-257-2948

～ 営業内容 ～

- ▶ 福祉車両の販売・リース
- ▶ 架装部のメンテナンス
- ▶ 車検・点検・修理・板金塗装
- ▶ 各種損害保険
- ▶ 福祉車両の代車・レンタカー



福祉車両のどんなことでも

インジニアス株式会社

〒332-0031 埼玉県川口市青木 3-12-11

なののはな スマイル

明るく! 元気!
施設の笑顔をご紹介します!



■ ケアセンターきさらづ

設立20年を迎える当施設は、東京湾アクアラインに近く、田園に囲まれ、富士山を眺望できる恵まれた環境の中、真心をもって看護・介護・リハビリに努めております。利用者様一人一人の気持ちと笑顔を大切に、行事やリハビリ、日々の生活を共に過ごしています。

住所：木更津市長須賀1239
電話：0438-22-5544
開設日：平成6年7月8日
入所：170名
通所：30名



利用者様の笑顔が、私の元気の源です。
『その人らしさ』を大切に！
活気あふれる職場で日々邁進しています。

●ケアセンターきさらづ
作業療法士 浅野 裕子



■ シルバーケア松戸

当施設は、「生命だけは平等だ」の理念のもとに、ご利用者様1人1人が明るく楽しく過ごしていただけるよう、行事を開催しております。春にはお茶会、秋には敬老会、冬にはクリスマス会など1年を通して、季節を感じていただきながら楽しんで過ごしていただいております。行事の時は地域の方々や、学生のボランティア様方にも参加していただき、より明るく賑やかな雰囲気を作っていただいております。今後もご利用者様はもちろん、ご家族様方も含め、明るく過ごしやすい環境作りに努めてまいります。

住所：松戸市串崎新田172-1
電話：047-311-0303
開設日：平成18年11月1日
入所：100名
通所：35名



私たちも、ご利用者様の笑顔に癒されています。
お互いが明るく元気に過ごせるようがんばります。

●シルバーケア松戸
介護福祉士 西野 香里(写真左)
介護福祉士 高橋 彩(写真右)



老健ちばカレンダー

8月

・在宅支援研修会
・ターミナルケア研修会

9月

・施設ケアマネジャー研修会
・老健における生活リハビリ研修会
・第2回新人職員研修会

●編集後記

- この度、広報委員の一員となりました若葉区にある「はつらつリハビリセンター」の福田雄三と申します。皆様が楽しめるような「なののはなだより」を広報委員の皆様と共に作りたと思います。どうぞ宜しくお願い致します(へ^)/ (福田)
- 毎日の暑さに気力・体力を奪われつつ日々の仕事をしています。ポーっとしている時間が多いのか色々片づけなければならぬことがあるのですが、ち〜っとも片付きません。何よりこの暑さが続くご利用者様への影響がとて心配です。お年寄りたちの脱水・夏バテに気を配りつつ、自分自身の体調管理も意識しています。皆さん体調管理に気を配って暑さを乗り切りましょう。(^マ^)/ (河野)
- 食中毒、熱中症、脱水とお年寄りには厳しい季節となりました。ある研修会で、認知症ケアにおいては、水分を1日1300~1500CC摂取することで、活動性が上がりBPSDも治まる例があるとのこと。当施設でも何とか水分摂取していただこうと頑張っているところですよp(^へ^*)q (坂本)

- 広報委員も新たな仲間が増えました。自分が広報委員に入った時のことを懐かしく思い出します。これからまだまだ暑い日が続きますが夏バテしないようにしっかり水分補給(夜はビールで)したいと思います(ε`*)> (神作)
- 苦手な夏がやってきました。今年も熱中症対策に励みます。既に右手指は真っ黒ですが、紫外線対策も頑張ってゴルフ場利用税を沢山払います。酒税は控えめにします!でもやっぱり控えめに出来ないかもr(^ω^*)) (若林)
- 某国会議員による原発事故処理に対する「金目発言」、某都議会議員による「セクハラ野次」、両者ともタジタジの釈明会見で「本意では無い」と弁明をしておりました。日本人特有の文化である「建前と本音」、使い方を間違えると「嘘つき」呼ばわりされてしまいます。誰もが正々堂々の本音だけで生きていければ、ある意味楽なんでしょうけどねo(´д´)o(斎藤)
- 庭の雑草防止のために、ヒメイワダレソウを植えました。梅雨の時期にたっぷり水を吸い元気に成長している姿をみてちょっとした癒しに感じています。(マ^)/ (佐々木)